

平成17年度人権教育・啓発事業実施状況(研修事業)

懇話会委員の助言を得たい事項等一覧

| 部局名等 | 担当室(課) | 事業名 | 頁 | 懇話会委員の助言を得たい事項等 |
|--------|-------------------|--------------------------|-----|--|
| 知事直轄組織 | 職員研修・研究 支援センター | 京都府職員人権問題研修 (職務基本コース) | 4 0 | 常により良い効果的な研修にしたいと努めており、参加・体験型研修も積極的に取り入れるように工夫しているが、多くの研修を企画する中で、見落としている視点や切り口がないかとも感じており、何かお気づきの点があればご助言をお願いしたい |
| | | (職場学習支援コース) | 4 1 | |
| | | (特別研修) | 4 2 | |
| 総務部 | 文教課 | 私立学校職員人権教育研修会 | 3 | 人権に関する意識等については、一人ひとりの人権に対する認識や問題意識の差、また、本音と建前といった部分も含めて、どのようにして客観的な評価を行うのか、そのための方策について御教示願いたい。 |
| | | 宗教法人関係者人権研修会 | 1 0 | より多くの宗教法人関係者の参加を図るため、チラシや府の広報媒体による研修事業の普及啓発を行うとともに、講演録を作成し、研修効果の普及・拡大を図っているところであるが、更に効果的な手法があれば御教示願いたい。 |
| | 府立医科大学 | 教職員人権啓発研修(全体研修) | 1 7 | 人権研修のテーマについてはワンパターンになりがちであり、新しい観点から捉えた幅広い内容の研修を行うことが効果的と考えるが、今後新たに起こりうる様々な人権問題についてご教示願いたい。 |
| 保健福祉部 | 保健福祉企画室 | 保健福祉部関係団体職員人権研修 | 2 1 | 受研者アンケートの内容改訂や、研修テーマの精査、福祉現場に携わっておられる講師を招き、受研者が現場の生の声を聞くことにより、研修効果が上がるよう工夫しているところであるが、さらに効果的な手法があれば御教示願いたい。 |
| | こども未来室 | 保育所職員研修事業 | 1 | 研修効果の検証に苦慮しているため、保育士等の通常業務に影響しない簡易な方法で実施できる研修受講効果の評価方法があれば、御教示いただきたい。 |
| | 健康増進室 | 保健福祉事業従事者人権研修会 | 2 2 | 府内の市町村合併により市町村数が減少し、また、業務の多忙さが一層増してきている中、特に市町村からの研修参加が得にくくなってきている。市町村(職員)が意識的に参加していただくための周知のあり方等についてご助言願いたい。 |

| 部局名等 | 担当室(課) | 事業名 | 頁 | 懇話会委員の助言を得たい事項等 |
|-------|------------|-------------------|-----|--|
| 保健福祉部 | 生活福祉室 | 生活保護関係職員事務打ち合わせ会議 | 2 3 | 人権問題について、個別のテーマに加えて基本的な理解を深める研修の必要性を感じているが、対象となる者の職務経験・知識・各所属での研修受講状況がまちまちであり、どうすればより効果的に実施できるか悩んでいる。参考となるような内容・手法・講師について助言いただきたい。 |
| | | 生活保護査察指導員会議 | 2 4 | 日々生活保護の相談に来られる方や保護受給者と接する面接相談員やケースワーカーを指導する立場の査察指導員に対し、必要な研修の内容について助言いただきたい。特に、査察指導員が日常の業務の中で、OJTとして人権問題を考え、ケースワーカーの指導に活かすことができるような教材があれば助言いただきたい。 |
| | 地域福祉室 | 社会福祉施設長研修会 | 2 5 | 社会福祉施設は、施設の種類によって利用者が女性、子ども、高齢者、障害のある人と多様であり、理念と実践のバランスのとれた研修内容とするのが困難である。 そのため、一般的な人権課題については開会あいさつ等の中で説明するとともに、人権啓発のパンフレットや資料等を配布しているところであるが、さらに効果的な手法があれば御教示願いたい。 |
| 府民労働部 | 雇用対策プロジェクト | 企業内人権問題啓発セミナー | 1 1 | 1会場200人から500人の規模で実施しているところであるが、講演以外の研修手法があれば御教示願いたい。 |
| | 人権啓発推進室 | 人権啓発指導者養成研修会 | 4 4 | 人事異動により2～3年周期で該当職員が代わるが多いため、短期間で一定の資質を身に付ける必要があるが、業務の都合もあり、単年度ですべての人権課題に関する講義を受講するのが困難である。 そのため、講演録を作成し、研修成果の普及・拡大を図っているところであるがさらに効果的な手法があれば御教示願いたい。 |
| 土木建築部 | 指導検査課 | 建設業者人権啓発研修 | 1 4 | 参加者は、幅広い年齢層の方が参加され、また、人権問題への理解と認識の度合いも様々である。研修実施に当たっては、過年度の研修テーマも考慮しながら、分かり易い研修に努めることとしているが、より効果的な手法等があれば御教示願いたい。 |

| 部局名等 | 担当室(課) | 事業名 | 頁 | 懇話会委員の助言を得たい事項等 |
|-------|--------|--------------|---|--|
| 教育委員会 | 社会教育課 | 人権教育指導者研修会 | 5 | <p>研修会参加者の構成は、年代では40代・50代が中心である。また、経験年数では、1年以上及び1年未満の人権教育関係職員と3年以上及び5年以上の社会教育主事という2つの層が見られる状況である。委員が専門としておられる分野や造詣深い分野について、本研修会の参加者に対して、講師や助言者として指導助言いただけることがあればお聞かせいただき、研修内容の充実に向け検討を進めていきたい。</p> |
| | | 人権教育行政担当者研修会 | 6 | <p>本研修会は、概ね20名程度である。地域の実情を踏まえた人権教育を推進することができるよう、各協議会での指導者研修の充実を図っている(研究協議・情報交換、学社連携事業、ワークショップ等)ところである。委員が専門としておられる分野や造詣深い分野について、本研修会の参加者に対して講師や助言者として指導助言いただけることがあればお聞かせいただき、研修内容の充実に向け検討を進めていきたい。</p> |